原単位の改善のための取組に関する状況 【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用

公益財団法人宮城県スポーツ協会

銘柄コード	
法人番号	3370805000140

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	80	娯楽業
細分類 (申請事業)	8041	スポーツ施設提供業(別掲を除く)
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	77,810 GJ	2,007 kℓ
前年度エネルギー総使用量		kℓ
非化石エネルギー総使用量	GJ	kℓ
調整後温室効果ガス排出量	$t\text{-}CO_2$	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2024年度実績)		原単位分母
	主たる事業 の構成割合	%

事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度

事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)	

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた調証排出削減量等の量】

種別	合計量
Jクレジット	t-CO2
-	- t-CO2
-	- t-CO2
-	- t-CO2

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績)		原単位分母
DR実施日数		

事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度

事業者全体の 5年度間平均原単位変化	

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気
目標(2030年度)	

直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
					0.0

目安設定業種		
目安(2030年度)		
目標(2030年度)		

直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度

目安設定業種	-	-
目安(2030年度)	-	
目標(2030年度)	-	

直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
					-

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kℓ/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kℓ/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

各施設にて利用頻度の高い照明の順次LED化を実施している。
各施設、季節ごとに空調機等の運転時間及び設定温度の基準を設定し、範囲外温度時の運転抑制を実施している。
各施設の利用状況をこまめに確認し。未使用時は消灯、空調設備停止の処置を実施している。
冷温水発生機や温水発生機の更新及びオーバーホールを行い、高効率化を図っている。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

計画
太陽光発電設備の設置計画を推進している。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄 (カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

2. 関連リンク

(注意事項)
・赤枠囲み欄は必須記載です。
・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。

原単位の改善のための取組に関する状況 【2026年度提出分（2025年度実績）】※非特定事業者用

公益財団法人 宮城県スポーツ協会

銘柄コード	
法人番号	3370605000140

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	80	娯楽業
細分類（申請事業）	8041	スポーツ施設提供業（別掲を除く）
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

エネルギー総使用量	79,520 GJ	1,974 kℓ
前年度エネルギー総使用量		kℓ
非化石エネルギー総使用量	GJ	kℓ
調整後温室効果ガス排出量	$t\text{-}CO_2$	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位※注（2025年度実績）		原単位分母
	主たる事業の構成割合	%

事業者全体のエネルギー消費原単位対前年度比	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業者全体の5年度間平均原単位変化（%）					

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた調整排出削減量等の量】

種別	合計量
Jクレジット	$t\text{-}CO_2$
－	－ $t\text{-}CO_2$
－	－ $t\text{-}CO_2$
－	－ $t\text{-}CO_2$

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位（2025年度実績）		原単位分母
DR実施日数		

事業者全体の電気需要最適化評価原単位対前年度比	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
事業者全体の5年度間平均原単位変化					

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標（2030年度）					

直近5年度間の実績値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
					0.0

目安設定業種		
目安（2030年度）		
目標（2030年度）		

直近5年度間の実績値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度

目安設定業種	－	－
目安（2030年度）	－	
	－	
目標（2030年度）	－	

直近5年度間の実績値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
					－

【ベンチマーク指標の状況（合理化）】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kℓ/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		kℓ/t以下
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	－	－
目指すべき水準	－	
ベンチマーク指標の状況	－	
ベンチマーク区分	－	－
目指すべき水準	－	
ベンチマーク指標の状況	－	

【取組の概要：業界の事情等を考慮した取組について（定量指標）】

【取組の概要：業界の事情等を考慮した取組について（定性的事項）】

1．エネルギーの使用の合理化に関する事項

各施設にて利用頻度の高い照明の順次LED化を実施している。
各施設、季節ごとに空調機等の運転時間及び設定温度の基準を設定し、範囲外温度時の運転抑制を実施している。
各施設の利用状況をこまめに確認し。未使用時は消灯、空調設備停止の処置を実施している。
冷温水発生機や温水発生機の更新及びオーバーホールを行い、高効率化を図っている。

2．非化石エネルギーへの転換に関する事項

計画
太陽光発電設備の設置計画を推進している。

【取組の概要：カーボンニュートラルに向けて】

1．自由記述欄（カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について）

2．関連リンク

（注意事項）
・赤枠囲み欄は必須記載です。
・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。